

(様式 3)

合流式下水道緊急改善事業 事後評価シート

評価実施年月：平成 27 年 10 月

1. 対象事業	四国中央市合流式下水道緊急改善事業			
2. 実施主体名称	四国中央市			
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度			
4. 対象事業の進捗状況	四国中央市川之江処理区合流式下水道緊急改善計画に基づき、以下の対策を実施した。 ①汚濁負荷量の削減：分流式下水道並み } 川之江ポンプ場に簡易処理の高度化施設を新設 ②公衆衛生上の安全確保：未処理放流回数の半減 } 川之江浄化センターに雨水滞水池を増設 ③きょう雑物の削減：きょう雑物流出を極力防止 } 細目スクリーンを設置済（既設）			
5. 目標の達成状況と達成の見通し	改善目標			
改善項目	改善目標			
①汚濁負荷量の削減	分流式下水道と置き換えた場合に排出する汚濁負荷量と同程度以下とする。			
②公衆衛生上の安全確保	全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる。			
③きょう雑物の削減	全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する。			
目標に対する達成状況				
改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価
①汚濁負荷量の削減	年間放流負荷量	49.2 t /年	43.4 t/年 (36.4 t/年)	43.2 t/年 (35.8 t/年)
②公衆衛生上の安全確保	年間未処理放流回数	川之江ポンプ場 年間 90 回 場内ポンプ場 年間 93 回	45 回以下 46 回以下	44 回 46 回
③きょう雑物の削減	細目スクリーン設置箇所	2 箇所	2 箇所	2 箇所
() は H25 全体計画見直し(水量・水質) を反映した場合改善計画を基に事業を実施し、改善目標を達成している。				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	①汚濁負荷量の削減 改善目標の負荷量を削減した（対策前 49.2 t/年→改善目標 43.4 t/年→対策後 43.2 t/年）。 全体計画見直しを反映しても目標は達成する（対策前 49.2 t/年→改善目標 36.4 t/年→対策後 35.8 t/年）。 ②公衆衛生上の安全確保 川之江ポンプ場、場内ポンプ場ともに対策前から半減している。 ③きょう雑物の削減 川之江ポンプ場、場内ポンプ場ともに既設スクリーン（細目）が設置されており、きょう雑物の流出を極力防止している。 総降雨量 10 mm 以上 30 mm 以下の降雨時における合流式下水道からの放流水の BOD 平均水質が 40 mg/L 以下であることを確認した。			
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	川之江ポンプ場では、分流式下水道並み及び未処理放流回数半減の目標達成のため、簡易処理の高度化施設と貯留管の比較検討を行い、簡易処理の高度化施設を採用し、事業の効率化を図った。			
8. 今後の方針	①汚濁負荷量の削減 ・更なる汚濁負荷量の削減につなげるため、雨天時の川之江ポンプ場、場内ポンプ場の既設能力を有効活用し、処理系への送水量の増量を図る。 ・未稼働施設（反応タンク）を雨水滞水池として活用する。 ・川之江ポンプ場、場内ポンプ場の改築更新の実施により汚濁負荷量の削減に一層努める。 ②公衆衛生上の安全確保 ①についての対応方針と共通することから、同様の対応により、未処理放流回数の更なる減少に努める。 ③きょう雑物の削減 スクリーンの適切な維持管理を行い、きょう雑物の流出防止に努める。			